



# 令和4年度 古河市立古河第二中学校の教育

令和4年度 生徒数(R4.4.1現在)

クラス	男	女	計
1の1	20	15	35
1の2	19	15	34
1の3	19	15	34
1の4	19	16	35
1の5	19	16	35
1年計	96	77	173
2の1	17	20	37
2の2	17	20	37
2の3	17	20	37
2の4	17	20	37
2の5	17	20	37
2の6	17	20	37
2年計	102	120	222
3の1	15	17	32
3の2	15	17	32
3の3	15	16	31
3の4	16	16	32
3の5	15	17	32
3の6	15	16	31
3年計	91	99	190
合計	289	296	585

【本県の教育目標】  
ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう  
じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う  
郷土を愛し協力しあう心育てる  
【第2次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦】  
次世代を担う「人財」の育成  
○「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進  
○新しい時代に求められる能力の育成

## 教育目標 めあてを持ち 鍛え高め合う 生徒の育成 ～共に生きる 共に創る～

★校訓  
○伸びよう(勇気・根気)  
○鍛えよう(元気)  
○助け合おう(本気)

### めざす学校の姿

- 磨き合い高め合う学校
- 感動を体験できる学校

### めざす生徒の姿

- 主体的に学び行動する生徒
- たくましく生き抜く生徒
- 自他共に尊重する心豊かな生徒

### めざす教師の姿

- 使命感をもち学び続ける教師
- 資質・能力を育成できる指導力のある教師
- 生徒・保護者・地域・同僚から信頼される人間性豊かな教師

### 古河市教育振興基本計画 「人が育ち文化の息づく古河をつくる」

- 古河市学校教育目標
- 一人一人の個性や能力を伸ばし、確かな学びをはぐくむ
  - 健やかな体をつくり、たくましい心を養う
  - 郷土古河を愛し、豊かな心をつちかう

「共生・共創」を基に 一人一人(生徒 保護者 教職員)が きらり輝く 古河二中 ☆

— 自ら学び、夢に向かって一人一人が 輝く古河二中 ・合い言葉「勇気」「根気」「元気」「本気」 —

本年度の指導の重点 → 学力の向上(授業の改善) 社会性の向上(協働的な体験の充実) 主体性の向上(生徒会活動の活性化)

★組織目標 ○規律と協働を高め、学力、社会性、主体性の向上を図る。○働き方改革を推進し、定時退勤日月4回を目指す。

### 学力を伸ばす(知)

- 楽しく身に付く授業実践
  - ※主体的・対話的で深い学びを目指した授業
  - ・ゴールの姿を明確した授業づくり
  - ・思考しなければ解決できない学習課題の設定
  - ・協働が必要となる学習課題と場の設定
  - ※個別最適な学び、協働的・探究的な学び
  - ・ICT機器の有効活用
- 基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための指導の充実
  - ・5教科チャレンジテストの実施
  - ・朝の学習の効果的な取組(鴻の鳥タイム)
  - ・読書 チャレンジテスト練習
- 家庭学習を充実させるための手立ての工夫
  - ・授業と連携した自主学習の推進
  - ・家庭学習の手引きの配付
  - ・家庭学習ノート展の実施
  - ・家庭学習実施状況の確認と家庭学習への助言
- 個に応じた指導を行うための指導体制の充実
  - ・教育活動指導員の適切な配置
  - ・テスト前学習相談の実施

### 思いやりの心を育てる(徳)

- 心の居場所となる学級づくりの推進(自他敬愛できる学級)
  - ・考え、議論する道徳の授業の推進
  - ・主体的、創造的な係活動の充実
- 人権感覚を磨くための教育の充実
  - ・人権フォーラム、いじめ防止フォーラム、いやりの木、生活アンケート、外部講師の活用
  - ・エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの実施
- 生徒が主役となる特別活動の充実
  - ・誰もが自らの学級に所属感をもてるチームによる活動の推進
  - ・SDGsを意識した生徒会活動
  - ・ボランティア活動の励行
  - ・インクルーシブ教育の推進
- 学習・生活習慣・規律の指導
  - ・あいさつ運動(小中連携)の実施
  - ・「3・2・1運動」で授業開始、終了
  - ・うがい手洗い消毒の習慣化 ・授業中の姿勢
- 読書活動の推進(みんなにすすめたい一冊の本推進事業)
  - ・50冊ごとに図書館支援員からの「しおり」授与

### 心身を鍛える(体)

- 体力を向上させる体育授業の充実
  - ・場の工夫と運動量の確保(汗をかく授業)
  - ・サーキットトレーニングの実施
  - ・体力向上に向けた教材の開発(ボール等の活用)
  - ・体力テストの結果の検証と学習活動の改善
  - ・体育カードの作成と活用(単元、種目ごと)
- 体力づくりの日常化
  - ・体育的行事の充実(ファミリンピック、校内駅伝大会、球技大会)
  - ・体力アップ週間の設定
- 食に関する正しい知識を身に付ける食育の充実
  - ・放送による栄養指導の実施
  - ・給食の残量調査
- 教育活動全体を通じた健康・安全・防災教育の継続的指導
  - ・実態に応じた避難訓練
  - ・新型コロナウイルス感染症対策の継続
- 部活動の充実(合い言葉「あ・り・が・と・う」)
  - ・大会前の激励会(生徒会主催)の実施
  - ・外部指導者(専門家)の導入

すべては  
一人一人の生徒  
のために

働き方改革  
超過勤務時間  
月45時間以内  
年360時間以内

### 情報発信・受信

- 学校だより、学級だより、ホームページ、メール等による情報発信
- 学校公開(授業参観、鴻鳥祭、懇談会)
- 学校評議員会や第4地区コミュニティとの情報交換

### 信頼される学校

- 学校マネジメントの確立(RPDCAサイクル)
- 保護者の思いの把握と誠意ある適切な対応
- 教職員の資質向上と服務規律の確保
- 危機管理意識の向上と生命を守る指導の徹底

### 地域との連携

- 地域を知り地域から学ぶ教育活動の推進
- 地域の人材の積極的な活用
  - ・少人数指導
  - ・ゲストティーチャー
  - ・国際教育支援
  - ・保幼小中の連携

### 目指すPTA活動

- 子どもに夢を
- 学校に楽しさを
- 地域に力を

人権尊重の精神を貫き、一人一人を大切に作る学校づくりを推進します